

江戸川セントラルリーグ（ECL）規約

2004年12月4日制定 2005年1月1日施行 2008年1月26日、2009年1月24日、2010年1月24日、2011年1月22日、2012年1月21日改定

◆第1章◆ 江戸川セントラルリーグ 基本ルール

- 1条. ECLの基本理念は、江戸川区近郊をおもな活動の場とするチーム同士、友好を深めながら、楽しい対戦を心がけることである。 ※意に反した行動をとるチームに対しては、ECL代表より脱退を通告する場合もある。
- 2条. 参加チームは、開幕前に開催される代表者会議に必ず出席し、参加費を支払うことで正式な参加チームとして承認される。 ※代表者会議開催時期は、適時変更する場合あり。
- 3条. 開催時期は、3月～11月の日曜日と原則とし、グループリーグ(最大12試合)およびクライマックスシリーズ(プレーオフ、以下CS ※翌年)をおこなう。 ※諸事情により、開催時期が前後する場合あり。
- 4条. 対戦期限は右記を原則とする。グループリーグ: 11月末日、CS1st: 翌年3月～5月末日、CS2nd: 翌年6月～8月末日、CSFinal: 翌年9月～11月末日 ※天候不良等により、期限を延長する場合あり。
- 5条. CS対戦カードは右記の通り。1st: グループ1位vsグループ2位(4カード ※たすきがけ対戦) ※3グループの場合、3カード。 2nd: Aカード勝者対Bカード勝者、Cカード勝者対Dカード勝者 Final: 2nd勝者同士の対戦。
- 6条. 代表者会議にて、新シーズンで所属するグループ分け抽選をおこなう。 ※前年度総合優勝チームから順に抽選、以下前年度参加チーム、新規参加チームの順。
- 7条. グループリーグは、A、B、C、Dの4グループ制とし、各グループ最大6チーム＝計24チームを上限とする。 ※参加チーム数が12チーム以下の場合、3グループ制とする。
- 8条. 参加費用は5000円とし、表彰用の賞品(トロフィー・副賞)、運営事務費(印刷費・雑費)に充当する。
- 9条. グラウンドを確保したチームは、ECLホームページ内にある「対戦連絡用掲示板」を利用し、対戦相手を募集する。 ※対戦不可能なチームも、参加できない趣旨の応答をすることが望ましい。
- 10条. 対戦相手が決定した際は、対戦相手募集を終了する趣旨の応答を掲示する。 ※報告フォームからの連絡は不要。
- 11条. 対戦にかかった費用(グラウンド代・派遣審判代)は、必ず対戦チーム同士で折半する。
- 12条. 対戦に関して起こった問題は、当該チームの代表者による話し合いをもって解決する。 ※解決できない場合のみ、ECL代表へ連絡する。
- 13条. 出場選手は、同一ユニフォームを着用すること。 ※同一ユニフォーム未着用の選手がいる場合、対戦相手チーム代表へ許可を取った上で出場すること。 ※投手起用不可
- 14条. 試合開始時間に9名以上揃わなかった場合、対戦相手チーム代表に許可を取った上で、現有戦力(9名未満)にて試合を開始する。 ※同一グループ内からの助っ人は原則不可。
- 15条. 連盟大会(区市町村等)と日程がバッティングした場合に限り、対戦をキャンセルすることができる。 ※対戦日の週、火曜日以降にキャンセルした場合、対戦費用の半額を負担すること。
- 16条. 15条の理由以外で、対戦日の週(月曜日～土曜日および当日)に入ってから対戦をキャンセルした場合、いかなる理由があっても不戦敗(0-7)とし、対戦費用の半額を負担すること。 ※再試合不可
- 17条. 江戸川区軟式野球連盟のルールに準拠し、打者および走者のヘルメット着用、捕手の防具着用、ランナーコーチの配置を心がける。 ※捕手用の防具(マスク・レガース)は必須。
- 18条. 活動中に起こった怪我や道具の破損等のトラブルは、すべて各チームにより責任をもって対応する。 ※ECL側では責任を負いかねるため、スポーツ保険等への加入を推奨。
- 19条. 参加全チームが対戦対象となるグループリーグ(最大12試合)という方式上、円滑な試合消化を最低限の努力目標とし、グラウンド確保および積極的な活動に努める。
- 20条. 対戦終了後は、3日以内に対戦結果を報告フォームよりECL代表まで報告し、対戦掲示板に結果を掲載(得点結果のみ)する。 ※報告および掲載は、勝利チームがおこなうこと。
- 21条. CSFinal(優勝決定戦)進出チームには、DEチャンピオンズカップ(翌年2月開催予定)への出場権を与える。 ※詳細は、出場予定チームに別途連絡。 ※DTL側の状況により、開催されない場合あり。

◆第2章◆ 江戸川セントラルリーグ 試合ルール

- 22条. ECLは、各グラウンドの利用方法、利用時間等に従い対戦をおこなう。
- 23条. 試合球は、新品A号(ナガセ健康ボール)2個を各チームで用意し、試合前に派遣審判へ提出する。
- 24条. 天候不良などにより中止の可能性がある場合、グラウンド確保チームはグラウンドへ使用可否の確認をとり、速やかに対戦相手のチーム代表へ連絡する。
- 25条. 対戦する両チームは、利用開始時間の15分前にはグラウンドに集合し、代表者同士は顔合わせをする。
- 26条. 対戦費用の精算、派遣審判への支払い、メンバー表の交換は、試合開始前に済ませておく。 ※メンバー表は必ず交換すること。
- 27条. 攻守については、対戦チーム代表者同士の「ジャンケン」により決定する。 ※ベンチは、原則グラウンド確保チームが1塁側、対戦チームは3塁側とする。
- 28条. オーダーは、10人制DHまたは9人制(DHなし)を使用する。 ※10人制DH=DHを他のポジション(守備)と同様に扱い、選手交代が可能な特別ルール。
- 29条. 試合中、10人制DHの放棄(9人制への変更)はインニング終了時のみ可とし、必ず相手チームへ申告すること。 ※9人制から10人制DHへの変更は不可。
- 30条. 試合は7インニング制とし、3インニング終了時点で試合は成立、7インニング終了をもって試合を打ち切る。 ※延長戦はなし。(優勝決定戦を除く)
- 31条. 試合中、天候不良などによる続行不能の場合、3インニング終了をもって試合成立とする。 ※中止の判断は、両チーム代表および派遣審判の三者で決定する。
- 32条. 利用開始時間から10分経過後までに試合を開始することが望ましく、利用終了時間の15分前からは新しいインニングには入らない。
- 33条. 利用終了時間の5分前には試合を打ち切り、攻守が終了しているインニングまでを公式結果とする。 ※後攻チームが追いついての同点、サヨナラ勝ちを除く。
- 34条. CSのみ、7回終了時点の場合、延長戦または再試合をおこなう。 ※延長はサドンデス方式とし、1アウト満塁(走者は下位打線から順番)、打順は1番から。

◆第3章◆ 江戸川セントラルリーグ 集計方法 表彰 その他

- 35条. GP(ゲームポイント)システムを採用し、最終結果として1位のGPが並んだ場合、右記の順に優劣をつける。 1・勝利数、2・引き分け数、3・総得点、4・当該チーム同士の対戦結果、5・同一グループ内のチームとの勝敗
- 36条. GPは、1試合消化＝1P、勝利(不戦勝)＝1P、引き分け＝0、敗戦(不戦敗、再試合未消化)＝0とする。
- 37条. グループリーグの最大試合数は12試合とし、消化試合数が12試合に満たない場合、いかなる理由があっても未消化試合数分のGPは0とする。
- 38条. 最大12試合を消化するグループリーグの中で、最大2チームとの再戦(各1回ずつ)を認める。 ※2回目の対戦時は、勝敗に関係なく、両チームともにGP1とする。
- 39条. シーズン終了後、CS進出チーム等(優勝、準優勝、MVP(優勝チームから1名選出し、ECL代表に報告))を表彰する。 ※賞状等は、代表者会議(または郵送)にて該当者に贈呈。

[対戦時の、基本的なタイムスケジュール]

- 利用開始時間15分前…両チーム、グラウンド付近へ集合。代表者同士で連絡を取り合い、グラウンド場所(面)の最終確認。派遣審判への最終確認をする。
- 利用開始時間…両チームグラウンドへ入り、ウォーミングアップをする。代表者は攻守のジャンケン、対戦費用、試合球2個、メンバー表の受け渡しを済ませる。
- 利用開始時間10分後まで…試合開始。
- 利用終了時間15分前…新しいインニングへ入らないよう、派遣審判に確認する。
- 利用終了時間5分前…いかなる場合(インニング途中でも)も試合を打ち切り、速やかにグラウンド整備をおこない、ベンチを空ける。
- 試合終了後…両チームの代表者同士で、対戦結果の確認をおこなう。